

学校名	明南小学校		
ホームページURL	児童・生徒数 287 名		
(1) テーマ 「さいりいSOS - みんなのさいりいを救え - 」 テーマの分類 (- エ) 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">学級</div> ・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他 () 該当学年 4年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい 明浜町の中心を流れる犀川で、思う存分遊んだり、不思議に思うことを自分たちで調べたりする活動を行うことを通して、犀川への愛着を持ち、自分たちの住む明浜町や犀川を大切にしていこうという心を育てる。			
(4) 活動の実際 (活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ・犀川での川遊び。犀川周辺のゴミ拾い活動 (学級全体での活動) ・犀川周辺にすむ生き物の種類や生態について調べる。 (グループ活動) ・犀川と犀川に流れ込む河川の水質調査。河川の汚れの原因調査。 (グループ活動) ・犀川についてのアンケート調査。犀川のいいところを全校に紹介。 (グループ活動) ・白鳥の会に入会して、白鳥の世話のお手伝いをする。 (学級全体での活動)			
(5) 指導体制 (校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・犀川漁協の方からお話を聞き、犀川にすむたくさんの魚を見せていただいた。 ・日本野鳥の会の会員の方から、犀川周辺に訪れる野鳥の生態を教えていただいた。 ・「白鳥の会」や「マレットゴルフ会」の方々から、犀川の魅力についてお話を聞いた。 ・川での活動が中心となるため、事前指導を徹底し安全面には十分に配慮した。			
(6) 指導上の留意点 (時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・社会科、理科、特別活動の時間を弾力的に使い、総合の時間を確保した。 ・生活廃水の処理の仕方についての調査は各家庭の協力を得て行い、川を汚さない方法の家庭での実践を呼びかけた。 ・これまでの活動の成果を、2月の学習発表会で保護者へ発表する予定。			
(7) 評価 (基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・グループ活動の成果を、「中間発表会」の形でクラスの友達や全校の先生方の前で発表を行った。他のグループの発表を聞き合う中で、互いに「いいところ」を出し合い、これまでの活動の評価を行った。 ・活動のたびに自己評価カードを書き、ファイルに活動の経過を保存した。通知票への評価は、子どもの自己評価と活動の様子から、所見での評価を行った。			
(8) 成果と課題 ・活動の導入段階で、子どもたちを十分に犀川で遊ばせたことは、犀川への興味関心や愛情を深めることにつながった。子どもたちは、「自分たちの犀川」という意識を持って、生き物調べや水質調査などの活動に意欲的に取り組んだ。 ・自分たちの犀川を守っていくという活動を1年で終わらせるのではなく、これからも続けていけるよう意識や意欲の持続を図りたい。 ・担任1人で、複数のグループまたは個人による活動を見ていくには、物理的な限界を感じた。			

テーマの分類 横断的・総合的な課題 (ア 国際理解 イ 情報 ウ 環境 エ 福祉・健康 オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学 校の特色に応じた課題